

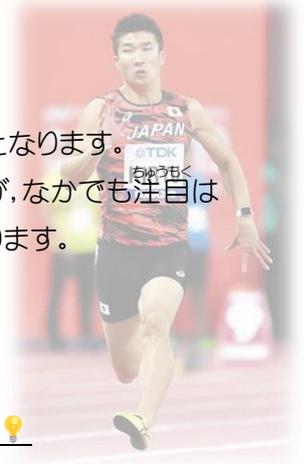


Whirlwind News Letter!!

やくだ じょうほう
キミに役立つ情報をおとどけ!

第25回: 「さいきんの陸上ニュース3」

5月~6月は世界的にも陸上競技の大会がおおきおこなわれる時期となります。
日本でもこの時期は中学・高校の全国大会の予選会がおこなわれていますが、なかでも注目
日本ナンバーワンをきめる『第106回日本陸上競技選手権』になります。
今回はその日本選手権についてしょうかいしていきます!



◆ いつ・どこでやるの?

6月9日(木)~12日(日)に大阪府のヤンマースタジアム長居でおこなわれます!

📍 ちょっとマニアむけな情報

トラックを25周走る10000mは5月7日にすでに終了しています。男子は10種目・女子は7種目行う混成種目は6月4~5日に秋田県で行います。混成種目はなぜかいつもべつの日で地方で開催になっています👁️

◆ どうやったらでれるの?

各しゅもくにきめられている標準記録(ひょうじゅんきろく。男子100mなら10秒45)をとっばした選手と、前の年のブロック大会(関東大会など)を優勝した選手がエントリーできます。ただ、それだと人数がふえすぎてしまう種目は『ターゲットナンバー』といわれる人数ライン(30人くらい)までしか出場できないため、ギリギリ記録をやぶるだけだと出場できない大会です。

📍 ちょっとマニアむけな情報

もしエントリーした選手で棄権(きけん。参加をやめること)がでた場合はターゲットナンバーより下の選手といれかえます。なので、ギリギリで出場がきまる選手もいます!ドキドキですね(笑)

👁️ 注目選手紹介!

田子コーチが勝手にえらんだ注目種目と選手を紹介します! いつも男子選手の紹介が多いので今回女子選手多めです😊

女子100m はぐんゆうかつきよ! だれが優勝するかわからないです!

日本記録をもっている福島千里選手が去年引退してしまった女子短距離。しかし、近年は大学生などわかい選手がどんどん記録をのばしています! そのなかでもトップを走るのが兒玉芽生選手。

ほかにも青山華依選手なども大学生の大会で好記録をマークしておりたかいレベルできそいあっています!



←現日本チャンピオンの兒玉芽生選手
今年からスポーツメーカーのミズノに所属しています。



今年すでに11秒47をだしている青山華依選手→
大学生ではナンバーワンの選手です

うらめんにつづく📍

田中希実選手は3種目にエントリー！



去年の東京オリンピックでは1500mで7位入賞した田中選手。
今年もすでにいろいろな大会で好記録をマーク(このあいだは400mも走っていました…笑)していますが、
日本選手権でも800m・1500m・5000mの3種目にエントリー！ 何種目優勝するかの楽しみです！

いちばんふい日本記録更新なるか！男子三段跳

田子コーチのメイン種目である三段跳の日本記録はなんと1986年(田子コーチが生まれる前よ…笑)にたん生した17m15(山下訓史選手)。

2022年現在でもその記録はやぶられていません……

それに伊藤陸選手が17m00の記録とせまっています。



ちなみに、記録保持者である山下選手のこどもの山下航平選手もエントリーしています。

お父さんの記録を息子がやぶるかどうかも注目です！

←2016年リオデジャネイロオリンピック代表の山下航平選手

◆ 放送があるのでみてね！

- テレビ放送(NHK総合)

6月10日(金) 19:30~20:42

6月11日(土)・6月12日(日) 16:00~18:00

- インターネット配信

6月9日(木)とテレビ放送時間以外は日本陸上競技連盟のホームページからみることができます！

【大会ホームページ】 <https://www.jaaf.or.jp/jch/106/>

【おうちの人へ】 編集後記

スプリント種目の測定を行いました

5月中に昨年と同様に50m・100mなどの走種目の測定を実施しました。測定時にうまく力が発揮できた子、できなかった子もいるかと思いますが前向きな声かけをお願いします。

今年も夏の練習は跳躍種目を中心に行います！

暑くなり始めるこの時期は熱中症に注意です！ 過度なマスクの着用は危険ですのでお控えください！

安全のため、ご自宅での指導もなにとぞよろしくおねがいいたします m()m